

「事業等の戦略的たな卸し」議事概要

たな卸し項目	2-6
施策の名称	行政情報の提供・公開の推進、新たな市民参加・参画の推進
テーマ	市民参加・参画の今後のあり方 (広報業務、パブリックコメント制度、 審議会委員の市民公募の推進)
担当課	広報広聴課、行財政再建対策室
日時	平成22年(2010年)10月31日(日) 11:05~12:25
場所	第2会場(第二庁舎3階大会議室)

○担当課より資料に基づき説明を行ったのち、委員間、委員と担当課の間で議論がなされた。

【委員の主な意見】

1. 新しい情報媒体を追加するだけでは経費や仕事が増える一方。成果及びコストの観点から、情報媒体の有機的な融合を図るべき。
2. 情報を集めるだけでなく、政策にどう反映させるかという視点をもって、情報の内容分析を行うことが必要。
3. 「新しい公共」、市民とのコラボレーションという視点から情報の役割を問い直すべき。
4. 市民に対して発信する行政情報としては、豊中市の課題(リスク情報・マイナス情報)も必要ではないか。
5. 広報とよなかだけでなく、双方向のしくみを検討すべき。
6. 若い世代に関連する情報を積極的に発信することにより、豊中市への愛着がわき、まちづくりに関わっていくのではないか。

【主な議論】

- 広報・広聴業務について
- 部局間での情報共有について
- 情報発信の媒体の有機的な組み合わせについて
- 審議会等での市民公募について
- 情報をどう政策にいかしていくかについて